

三井造船株式会社
三井不動産株式会社

2012. 9. 14

大分事業所でメガソーラー（大規模太陽光発電施設）を建設

—三井不動産と共同で売電事業を開始—

三井造船株式会社（社長：加藤 泰彦）と三井不動産株式会社（社長：菰田 正信、本社：東京都中央区）は共同で、三井造船大分事業所（大分県大分市日吉原）内に、約17MWのメガソーラー（大規模太陽光発電施設）を建設し、発電した全量を九州電力に売電する事業を開始します。

本事業は、2012年7月から施行された固定価格買取制度を活用し、当社として初めてメガソーラー発電事業に参入するものです。

三井造船の売電事業は他に千葉事業所（千葉県市原市）に於いて日本最大規模となる49,900kWのバイオマス発電設備や風力発電（1,500kW）設備が稼働しています。

〔事業概要〕

事業名称：三井造船・三井不動産大分太陽光発電事業

事業形態：共同事業。三井造船51%、三井不動産49%

発電能力：約17MW

設置場所：大分県大分市日吉原3 当社大分事業所内

工期：着工 2012年10月 完工 2013年11月

運転開始：2013年12月

事業期間：20年間

(外観パース)

